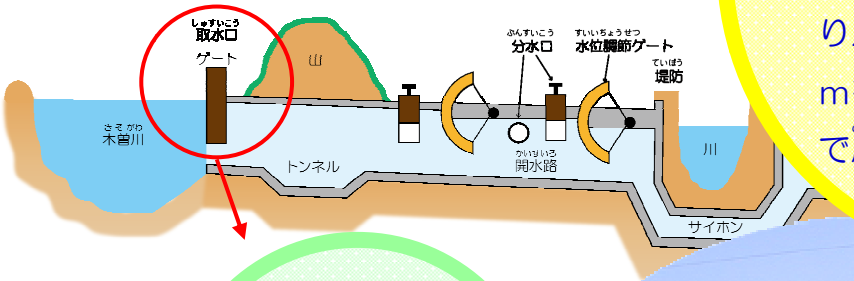
愛知用水

4. 用水を流す施設

長野県御嶽山のふもとにある牧尾ダムや山々でふった雨が木曽川に流れ、岐阜県の愛知用水取水口で水を取り入れ、水路の長さ１１２ｋｍを流れて知多半島の先まで届けています。



取水口

川から水を取り入れる施設です。

施設のやくわり

愛知用水取水口

白山開水路

水路

取水口で取り入れた水を、必要なところまで送る施設です。

水路には、開水路、トンネル、サイホンなどの種類があります。

桧原第２開水路

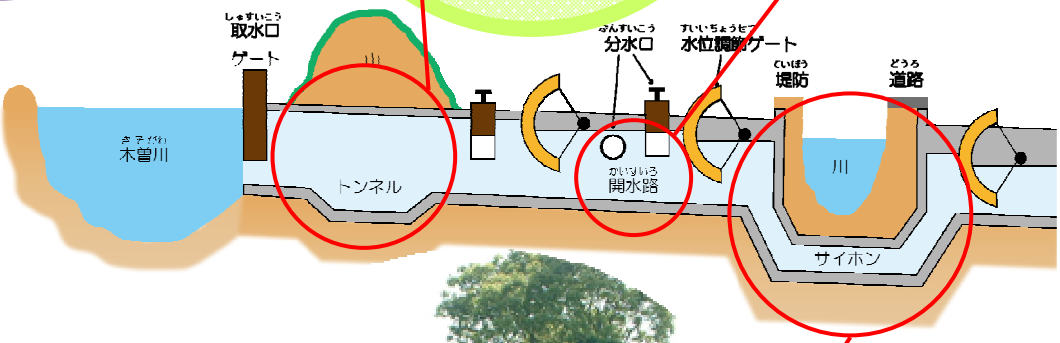
大谷第１トンネル

開水路

水が流れている水面が見える水路で、コンクリートや土で出来ているものです。

トンネル

取水口から水を取水し、水が自然に流れるように山を堀ぬいて作る水の道です。



菅刈サイホン入口

サイホン

水路が川や道路などの障害物を横断するとき、その下に作る水の道です。